

## みんなで見よう! 「7月26日の国際宇宙ステーション通過」

7月26日(火)の夜に、国際宇宙ステーション(ISS)が、東京の近くを通過(つうか)します。望遠鏡(ぼうえんきょう)や双眼鏡(そうがんきょう)がなくても、眼で見えますので、晴れていたら、ぜひみんなで見てみましょう。



7月26日(火)、東京では20時35分~40分ごろ見えます。この日は、沖縄(おきなわ)から北海道まで、日本全国でよく見えます。ISSが上空を通過する時は、金星よりも明るくかがやく光の点が、かなり速く移動(いどう)してゆきます。

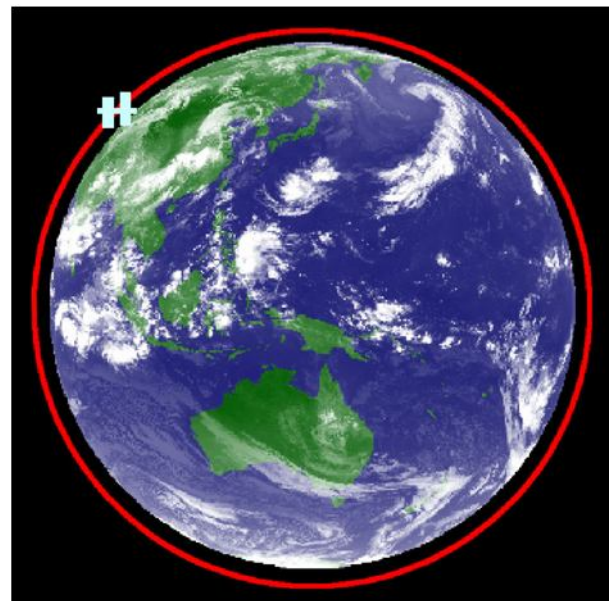


今、ISSには、日本人宇宙飛行士・大西卓哉さんが乗っています。その光の点の中に、大西さんが乗っていると思うと、ふしぎな気持ちになると思います。きっと大西さんも、夜の日本列島を宇宙から見られるのを、楽しみにしていることでしょう。

この日のISSが、東京上空を通過する時に、見ている人と一番近づく距離(きょり)は、451kmです。何と、東京と大阪の距離よりも遠いのです。そんなに遠くの人工物体を、目だけで見られるなんて、すてきですね。スマホやデジカメでもきれいに写りますよ。



この日のISSは、東京では20時36分ごろ、西南西の低い空に見え始めます。最初はゆっくりで暗いですが、頭上に来ると、急に明るく速くなります。その後、5分ぐらいで北東の空に去ってしまいます。ISSは沖縄から北海道まで、わずか5分で移動します。



地球の直径は約13000km、ISSの高さは約400kmしかありません。実はISSは、地球のすぐそばを回っているのです。しかしそれは猛スピードで、地球をたった90分で一周してしまいます。(実際は、上の図のように北極や南極の上空は通りません。)

ISSのことは、JAXAのホームページで調べてみましょう。大西宇宙飛行士の活躍もっています。ISSが日本からいつ見えるかもわかりますよ。

<http://iss.jaxa.jp/>